

(別添資料 1)

月 14 日

法人（事業所）理念		スポーツを通じさまざまな経験をするにより、子どもたちが自分を知り相手を知り、個性を尊重しながら自立にむけて自ら成長していけるよう支援します。私たちU、P、Tは、子どもたちが持つ無限の力を最大限に活かすため、一人ひとりが安心して自分らしく居られる環境を作ります。									
支援方針		子どもたちの「自ら成長する力」をご家族、関係機関とともに支えながら、発達の土台をつくります。 「できた」「やった!」と思う小さな成功体験を重ねながら、自信を持ってチャレンジする力を育てます。 さまざまな経験から将来に向けて、生きる力を身につけます。									
営業時間		10時 13分	00分	12時 17分	00分 30分	送迎実施の有無		ありなし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・連絡ノートや顔色、言動等の観察から健康状態の把握に努めます。来所時は、手洗い・うがいを励行し子どもたちが自ら体調管理を意識できるよう支援します。 ・生活リズムのを整え、規則正しい生活を送ることができるよう支援します。トイレトレーニング、衣類の着脱をサポートし、自分でできることを増やします。 ・食事、軽食を作ること、みんなで食べることの楽しさを伝えます。									
	運動・感覚	・座る、歩く、走るなど日常生活の基本動作に加え、四つん這い、スキップ、ケンケン等さまざまな動きの経験を通じ、姿勢の改善や筋肉の維持、強化を図ります。 ・音楽や運動器具などを有効に使い、楽しく体を動かしながら、五感を最大限に生かすことができるよう支援します。									
	認知・行動	・活動の流れやルール説明など、イラストや文字を使用し視覚的に理解しやすいよう支援します。 ・クッキングや工作などの活動を通じ、完成形をイメージするため絵カードを用紙し、手順どおりに進める力を養います。 ・数字カードやマーカー等を用い、色、数字、絵柄を認知し、理解、判断できるよう支援します。									
	言語 コミュニケーション	・集団活動のなかで、子ども同士の関わりやスタッフとの関わりを通じて、コミュニケーションの大切さ、楽しさを伝えます。 ・一人ひとりの発達段階、心の状態に合わせた声かけをします。安心して自分の気持ちを言葉にできる環境づくりに努めます。									
	人間関係 社会性	・それぞれの発達段階に応じて、他者と適切な距離を保ちながら良好な人間関係を構築できるよう支援します。 ・チーム分けをした集団活動を通じて、協調性を養うほか、リーダーシップを発揮できる機会を提供します。 ・ルールを守る、勝ち負けの結果を受け止める、友達と協力するなど社会性を習得できるよう支援します。									
家族支援		・送迎時の報告や連絡ノートを活用し日々の活動や様子など家族への情報共有に努めます。 ・モニタリングや必要に応じて相談等の機会を設け、家族と密に連携します。 ・研修等の参加やスタッフ間での意見交換により、支援の質の向上に努め、家族のニーズに合わせた支援や助言が行えるよう努めます。 ・自己評価、評価結果を踏まえた会議を実施し、より良いサービス提供に繋がります。					移行支援		・個別ケース会議に参加し各関係機関との連携を密に図りながら支援します。 ・家族や学校との連携のなかで、卒業後の進路等の情報を共有し、必要に応じて連絡相談や面談対策を行うことで次のステージに不安なく移行できるよう支援します。		
地域支援・地域連携		・関係機関と定期的な情報共有の機会を設け、密な連携を図ります。 ・公園、子ども食堂、誰もが参加できるオープンカフェなど地域の開かれた場に参加し、地域資源を活用します。					職員の質の向上		・虐待防止委員会の設置、研修の実施、身体拘束適正化委員会の設置、研修の実施 ・安全計画の策定、周知、避難訓練の実施、感染対策委員会の設置、研修、訓練の実施 ・BCP（感染症・災害）策定、研修、訓練の実施 ・外部研修に参加し、最新の知識と実践的なスキルを学ぶ ・個別ケース検討会等で支援状況の共有や支援方法の見直しを行う		
主な行事等		お花見、プール、工場見学、公園遊び、フットサル体験、お誕生日会 など									